



■ 教科より 前期のがんばりどころ ①

高校二年生は、最も大きく伸びることのできる学年です。同時に、「なんとなく過ごす」こともできてしまう学年でもあります。だからこそ改めて「授業が基本」。それは、テストの点数だけを追いかけるなど、目に見えやすい結果だけを重視するということではありません。授業という学校生活の中心を大切に、日々の学びに本気で向き合う姿勢を育てたい、という強い願いです。授業の積み重ねは確実に未来を形づくれます。努力はたとえ目立たなくても、あなたを裏切りません。

そんな思いを込めた各教科からのがんばりどころを順に紹介していきます。これらを最も届けたい君は、そもそも文章を読まないから届かないのかもな…と思いながら、いつも全力で投げかけています。あるいは、部活動をやめた君は、次に学習に時間をかけられていますか？また、すでに学習を習慣化できている人も、各教科のポイントを確認しておきましょう。

国語

前期(2年10月)までに国語の基礎事項は完成させ、以降は他教科に時間を割けるようにしましょう。**授業の予習、週一課題**(錬成現代文・プログレス)、**小テスト**(漢字・語彙・古文単語)、**ベーシック文法**内容に誠実かつ真摯に取り組みましょう。後期の演習をうまくいかせるよう、前期は**知ること解くことを楽しみつづ**(これが一番大切！)、授業にしっかりついてきてくださいね。

社会

どの科目も、「その日に習ったことはその日のうちに復習せよ！」です。

日本史・世界史・地理に関しては、3年になっても授業は進んでいきます。2年生に学習した内容を授業の中で振り返る時間なんてありません。また公共については、より深まった内容である政

治経済・倫理を3年生で学習する基盤として不可欠な内容です。政治経済・倫理は公共で学習したことをベースにより深い内容を学習します。

2年生で学習した内容は2年生のうちにマスターすべしと毎年伝えたにも関わらず、残念ながら先輩たちは後悔する姿を見せています。80期のみなさんでこの流れを止めてください。

英語

一年生で習得範囲は終えています。二年生は一年生の範囲が身についているか確認し、調整する基礎演習期間、三年生は応用演習期間です。

①毎日英語を聴く、読む

リスニングは音のつながりやイントネーションなどを意識し、スクリプトを見なくても文章が頭に浮かぶまで聴きましょう。また、たくさんのインプットのあとはたくさんのアウトプットの機会も必要です。最初はリピートやオーバーラッピングから始め、シャドーイングできるまで繰り返しましょう。

リーディングについて、「極意が難しい！」と思う人は少なからずいると思いますが、大学入試の長文読解に慣れるには、授業の有無にかかわらず、文章を読み続けることが一番です。一日最低でも一つは長文を読みましょう。

②RJ・Wの授業とともに、**文型・品詞は必ず意識すること**。教科書で読んだ文章・覚えた例文や、リスニングで聴いたものを吸収し、自分で正しい形で使えるようにしてください。

数学

数学では**単元の流れをつかむことを意識してください**。物語の一部だけを読んでも本当の面白さは分かりません。全体の流れが分かるとこそ、それぞれの場面に対しての理解も深まります。数学も同じです。全体の流れがつかめれば、2年生後半から行われる演習がより実りのあるものとなります。そこで、大切にしてほしいことを3つ挙げま

す。

① 問題の解法のみならず理屈・発生の由来などにも興味をもつ。(答えが出せればいいという考え方を捨てる)

② 分からないことをその日のうちまたは遅くともその週のうちに解決する。

③ 数学を重く捉えず、素敵で便利なツールとして捉える。

最後に、**自分の可能性を信じなければ、絶対にできるよにはなりません。**自分の可能性を否定しないでください。今できないことは悪いことではありません。「自分はこんなもんだろう」「こんなものでいいか」という考えでできないことから逃げてしまっは成長が止まってしまう。「もっとできるようになってやろう」と思って取り組んでください。

理科

<物理>

復習を徹底すること。リードαを解く習慣をつけてください。

単元で新しく登場した内容は、授業中聞いてもすぐには頭に入らないと思います。何かを記憶・知識として定着させるためには学習を習慣化させる必要があります。一番でつとり早いのは知識を使うことです。物理でいうと、それは問題を解くことに当たると思います。**問題を解く習慣がない人は一日2、3問からでもいいので、ぜひ問題を解いてください。**1章あたりの基本問題は一週間でふつうに解き終わりますよ。

<化学>

通年で頑張ることですが、あえて前期と言われれば「基礎の徹底」を!

よく例に出すのが英作文です。英作文(化学反応式)を作るためには英単語(化学式やイオン式)を覚えないと書けない→そのためにはアルファベット(元素記号)を覚えていないと書けないですよ?その上で英語に文型があるように、化学反応式やイオン反応式にも作るうえでのルールがあるわけです。塩化アンモニウムといわれて化学式が

パツと出てきますか?ある一定の覚えるゾーンをクリアすれば、そこからは自然界のルールに沿ってパズルのように正解を導くことができるようになります。

もう一つは、化学は「粒」の学問だと思います。目に見えないほどの小さな粒たちが、熱や様々なエネルギー変化によって粒同士の繋がり方の変化をします。**そういったことをイメージしながら、ひとつひとつ現象を理解することが結局一番の近道かと思っています。**できるだけ可視化して分かりやすくお伝えしようと思いますが、皆さんも自分でイメージしながら考える癖をつけてください。

<生物>

授業で説明した「アクティブリコール+分散学習=連続的再学習」を習慣化することが前期の目標です。テスト前の一夜漬けの学習法から脱却しましょう。次の授業までに習った範囲の復習を、白紙法や、学んだ範囲に対応する問題を解くなど、**アウトプット中心で行ってください。**アウトプットを行った後は、必ず、アウトプットした内容が正しいか、不足は無いか、フィードバックを行うようにしましょう。できなかった問題は、日を空けて再び取り組みましょう。丸暗記ではなく、ストーリーを理解、納得しながら学ぶことで、長期的な知識として定着します。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう!

27日(月) 遠足

30日(木) 主権者教育・前期役員選挙

5月

6日(水) 校内留学申込〆切

8日(金) 授業参観・PTA総会

11日(月) 台湾との交流会

18日(月) 午前授業、体育祭準備

19日(火) 体育祭

21日(木) 前期中間考査 2週間前